

3 岡山県産材のあれこれにお答えします。

Q 岡山県ってヒノキが有名なの？

A 全国一位のヒノキ生産量を誇っています。

岡山県は、平成24年から26年まで日本一のヒノキ素材生産量を誇っており、その用途は、住宅の建築用材として利用される場合は、耐久性、香り、美しい木目などの点から優良材として重宝され、柱や土台等の構造材や床材、壁材等の内装材に多く使われます。

全国的には、スギがヒノキに比べて約5倍の生産量がありますが、岡山県では、ヒノキの生産量がスギに比べて1.6倍多く、住宅の構造材や内外装に使える優良な木材を入手し易い県といえます。



手入れの行き届いた人工林

Q 生産量が日本一なら、柱や梁にする技術もトップクラスよね。

A そのとおり。岡山県は、全国でもトップクラスの製材の技術・木材の品質を誇っています。

岡山県の製材業者は、全国に先駆けて国産材の製材技術や乾燥技術を築き上げ、長年培った技術は現在も引き継がれています。

この技術により製造された住宅用資材の品質は、住まれる方へ安心感ややすらぎを与えてくれます。



人工乾燥機



高品質な住宅用柱材

Q 木造住宅に使われている木材の寸法、材質、強度性能等、品質が明確で安全性に優れた規格木材の公的な認定制度はないの？

A 最近は、安心できる品質が確保された木材が供給されています。(JAS製品利用のすすめ)

木材の品質に関する公的な規格としては、「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」(昭和25年法律第175号)第7条第1項の規定に基づく「日本農林規格(JAS(ジャス))」があります。この法律に基づいて、造作用製材、構造用製材、下地用製材等について、それぞれ個別の規格が定められています。

近年、住宅の耐震性等に対する消費者のニーズが高まりを見せており、木材の品質及び性能に関心が寄せられるようになってきました。このため、寸法安定性、強度性能等が明確な製材品が要求されるようになってきました。このような状況下において、JAS製材品は、日本農林規格の品質基準を満足しており、必要とされる性能を担保できる製品として、安心して選択することができます。県内には、JAS認定工場数が22あり、優れた製品が出荷できる体制が整備されています。



品質が明確であることを示すJASマーク